

舞台音響設備概要(主ホール)

■特徴

講演会での明瞭性のある拡声を基本性能とし、ダンス、ミュージカルや音楽劇、対話劇等の様々な舞台芸術に対応。

- ・高品位で迫力ある音楽再生が可能。
- ・ディレイを使用しての台詞の拡声、効果音の再生は、自然な定位感のある音響演出が可能とします。

■基本構成

主スピーカはプロセニアムスピーカ(センター)とサイドスピーカ(上手/下手)の3基によるトライアングル構成とする。

その各々が客席エリア大半をカバーすることにより、基本的な拡声音場を確保します。

さらに、効果用シーリングスピーカ、ウォールスピーカを設備することで多様な舞台形態に応じたステレオ感、拡がり感、定位感、音像移動などにより高度な音響演出を可能とします。

■ミキシングシステム

基本性能と操作性を重視したデジタルコンソールを導入。

- ・アナログコンソールと同様の感覚でセットアップ可能。
- ・様々な音響シーンを必要に応じてにメモリー/リコール可能。
- ・パラメータの変更はタッチパネルとノブで直感的なオペレーションが可能。
- ・32マイク入力+4ステレオ入力(計40ch入力)
- ・16ミックスバス+8マトリックスアウト
- ・シーンメモリー数 300

■録音再生機器等

システムを構成する機器

- ・MD/CDプレーヤー、カセットテープレコーダ
- ・ソリッドステートレコーダ
- ・ワイヤレスマイクシステム(同時使用6波)

各機器は収納ケースに収納し可搬性を高めている。

また、舞台形状に応じた操作ブースをホール内のどこにでも構築することが可能。

■舞台連絡装置

主音響システムとは独立し舞台スタッフが自由使用可能

- ・連絡用トークバック装置により仕込み時の伝達を確実にする。
- ・移動型の舞台監督卓及び、舞台進行に必要なポイントに有線インターカムを設備。
- ・有線インカムとの通話も可能とした無線インターカムを設備。
- ・搬入口からホワイエまで劇場運営に必要なポイントを見られるITVシステムを装備。
- ・舞台袖より楽屋呼出が可能。

■各種催物の対応

各種催物の設定パターンをデジタルマルチプロセッサに記憶させることで最適な音場を簡易なスイッチ操作により瞬時に呼出が可能。

講演会

- ・出力制御部のディレイマトリックス機能により講演者の生の声を活かした自然な定位感のある拡声を実現。
- ・ソリッドステートレコーダより、CFカードを使用しての長時間で高音質なデジタル録音が可能。
- ・高輝度、高解像度(フルHD)のプロジェクターを使用してのプレゼンテーションが可能。

演劇

- ・効果用シーリングスピーカ、効果用ウォールスピーカとのディレイマトリックス機能により自然な定位感のある効果音の再生が可能。
- ・MD/CDプレーヤー、カセットテープレコーダ、ソリッドステートレコーダを揃えており持ち込まれた各種メディアに対して対応可能。

軽音楽コンサート

- ・大型移動スピーカ装備し、主スピーカに加えて使用することで迫力ある音楽の再生が可能。

映写会

- ・高輝度、高解像度(フルHD)のプロジェクターにより市場に普及している映像ソースの上映が可能。
- ・主スピーカに加え、移動型スピーカ、効果用ウォールスピーカを使用してのサラウンド再生が可能。



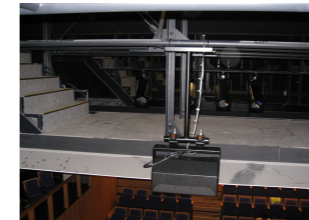
音響調整卓 録音再生器(音響操作室)



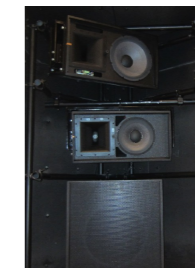
アンプラック架(アンプ室)



ITVカメラ(客席中央)



効果用シーリングスピーカ



サイドスピーカ



舞台袖操作架(舞台下手袖)

